

札幌市立小中学校教員への環境教育の支援活動について

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、当社の100%子会社である新日本石油精製株式会社(社長:小沢 稔)室蘭製油所において、1月11日(木)、札幌市立小中学校の教員有志17名を対象に、環境教育の支援活動を実施しましたので、お知らせいたします。従来より当社は、次世代を担う子供達への、石油、エネルギー、環境などに関する教育を支援するため、学校への出張授業や、子供達の集まるイベントでの環境啓発活動などを実施しております。今回の活動では、環境教育に取り組む教員の方々への支援を行い、子供達への環境教育に役立ててもらうことを目的としております。当日は、製油所構内の見学や、当社社員による「石油と暮らし」、「エネルギー消費と地球温暖化」などについての説明を行い、その後、参加者はグループに分かれ、今後の環境教育のあり方や、企業に望む環境教育への支援などについて討論を行いました。

参加者からは、「この情報を授業で役立てたい」、「教師が実際に目で確かめたことを生徒に伝えるのはとても有意義」、「同様の企画があれば仲間に参加を薦めたい」といった感想が寄せられ、今後、学校での環境教育がより充実したものとなることが期待されます。

当社はグループ理念に、「エネルギーの未来を創造し、人と自然が調和した豊かな社会の実現に貢献します」を掲げ、今回の活動を参考に、当社グループ6製油所における支援活動の展開も視野に入れ、今後も次世代を担う子供達への環境教育を支援してまいります。

記

<活動概要>

1. 日 時:2007年1月11日(木) 8:00~18:00
2. 参加者:札幌市立中学校教員16名、同小学校教員1名
3. 内 容:
 - (1)室蘭製油所構内見学
 - (2)石油、エネルギー、環境、および当社の環境対策に関する説明
 - (3)参加者によるグループ討議

以上

本資料は本日、エネルギー記者会、環境省記者クラブ、北海道経済記者クラブ、室蘭市政記者会へ配布しております。



製油所の説明を聞く参加者



環境教育について話し合う参加者